

3500		電気代
品目	銘柄	
電気代	低圧電灯、基本料金又は最低料金・電力量料金・燃料費調整単価・再生可能エネルギー発電促進賦課金単価・口座振替割引等	
	料金区分別（規制料金・自由料金）、使用電力量パターン別	
単位		
1か月		
<b>価格選定</b> (1) 調査市町村別に電気を供給している代表的な小売電気事業者を1社選定する。 北海道電力、東北電力、東京電力エナジーパートナー、北陸電力、中部電力ミライズ、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力 (2) 料金区分別（規制料金・自由料金）に料金プランを選定する。 (3) 1か月当たりの使用電力量について5パターン設定する。 使用電力量パターン：160 kWh (20A)、250 kWh (30A)、330 kWh (40A)、440 kWh (50A)、720 kWh (60A) （カッコ内は、アンペア制における契約アンペア数を表す。） (4) 口座振替割引等、利用に条件があるものの、多数が利用しているとみられる割引サービスについては、価格の算出に適用する。		
<b>指数算出方法</b> ① 使用電力量パターン(b)別の価格を算出する。 $p_{t,a,b} = \text{基本料金} + (1 \text{ kWh 当たりの料金} + \text{燃料費調整単価}) \times 1 \text{ か月の使用量} \\ + \text{再生可能エネルギー発電促進賦課金単価} \times 1 \text{ か月の使用量} \\ - \text{口座振替割引等}$ ※ 最低料金制の場合 $p_{t,a,b} = \text{最低料金} + (1 \text{ kWh 当たりの超過料金単価} \times (1 \text{ か月の使用量} - \text{最低料金量})) \\ + \text{燃料費調整最低料金} + (\text{燃料費調整単価} \times (1 \text{ か月の使用量} - \text{最低料金量})) \\ + \text{再生可能エネルギー発電促進賦課金最低料金} \\ + (\text{再生可能エネルギー発電促進賦課金単価} \times (1 \text{ か月の使用量} - \text{最低料金量})) \\ - \text{口座振替割引等}$ ② 使用電力量パターン(b)別の世帯割合(q)を用いて加重平均し、料金区分(a)別の平均価格を算出する。 $P_{t,a} = \frac{\sum_b p_{t,a,b} q_{0,a,b}}{\sum_b q_{0,a,b}}$ ③ 料金区分(a)別の契約割合(q)を用いて加重平均し、調査市町村別の平均価格を算出する。 $P_t = \frac{\sum_a p_{t,a} q_{0,a}}{\sum_a q_{0,a}}$ ④ 基準時価格で除して、調査市町村別の品目別価格指数を算出する。 $I_t = \frac{P_t}{P_0} \times 100$ <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <math>t</math> : 比較時、0 : 基準時  <math>a</math> : 料金区分                (規制料金・自由料金)  <math>b</math> : 使用電力量パターン         </div>		
<b>価格指数の適用</b> 調査市町村別		